

Page 65.

再送  
台紙  
紙  
入  
手

2384

亞細亞局

公機密第六五號

昭和九年四月七日

別冊添付

承德出張

副領事

中

根

直

介



外務大臣 廣田弘毅 殿

「私ノ見タ蒙古」送付ノ件

當地特務機關ヨリ首題ノ冊子入手シタルニ付御参考迄一部送付ス

送付先 在滿大使

昭和九年四月拾六日 櫻

S 1.6.1.2-13

279

REEL No. A-0739

0 : 6 6

アジア歴史資料センター

秘  
承常報第三號  
昭和九年四月二日

『松の見左蒙十』

承德特務機關長  
步兵中佐 松井源之助



S 1.6.1.2-13

280

Page 11.

配布先

- 軍参謀長 (一) 第七師團 (二) 軍政部參謀 (三)
- 興安陸軍長官 (四) 騎兵集團 (五) 奉天 (三) 山棧 (三)
- 多棧 (三) 希棧 (三) 林棧 (三) 齊棧 (三)
- 天津軍 (一) 北平軍 (五) 熱河軍 (五)
- 赤峰軍 (五) 承德軍 (三) 赤峰軍 (三) 子備 (一) 計口部

S 1.6.1.2-13

281

2384

2384

目次

一 阿レフエ工区興安峯ヲ越ヘテ  
 改革スヘキ通商貿易  
 二 蒙古開發ト鉄道敷設  
 三 蒙古人ノ生活改善  
 四 喇嘛教ノ改革

本小冊子ハ西烏珠穆沁王府機關員諸澤清八ノ内蒙  
 古勤務間起草セルモノニレテ蒙古事情ヲ覽見スル  
 古勤務簡ニシテ要領ヲ得タルモノト認メ印刷分配ス  
 ルコト、セリ

5 1.6.1.2-13

293

5 1.6.1.2-13

282

REEL No. A-0739

0168

アジア歴史資料センター

歩ミソコニ彼等ノ草庵ヲ求メテイルダ  
 東洋ニ於ケル盟主タル我國外東洋平和ノ為ニ相互  
 共存ノタメ友邦三千万民衆ノ喝望ヨリ義軍ヲ滿洲  
 ニ起シ我多ノ導キ我等民衆ノ血ヲ此ノ地ニ流シタ  
 カ滿洲國成立後三歳ノ今日皇帝ノ大典ヲ見ルノ喜  
 シヨ得タ  
 滿洲國ハ既ニ一人ヲ育クテ行ケル  
 次ハ蒙古ノ一蒙古民族ノ蹶起スルヘキ秋ガ我々蒙古  
 工作ハ来ルヘキ三十ノ大主戦ノ準備ヲ又ナシ  
 領土ヲ侵奪セシトスル野望ヲイ富、貧、強弱ニ東亞民  
 族ヲ大同團結シテ腹カキテ握リアウヘキタ  
 吾東亞ノ平和ヲ招徠セシムルベク指導スルノ力眞  
 ノ我が國天賦ノ使命ヲ有ルヘキタ

私ノ見タ蒙古  
 於西烏珠穆沁王府  
 諸澤清八  
 興安卷ヲ越エテ  
 興安卷ヲ越エテ

幾ツカノ歌ヤ詩ニナツタ興安卷ノ支脈ヲ前ニサレ  
 ハル山ノ群峰ヲ遙カニ左手ニ見ツ、峰ヲ下レハ十  
 古ノ謎ト社秘ヲ秘メタル一望千里ノ深淵タル草架  
 地帯ダ  
 鼎ノ沸ク如キ在界ノ現況ヲ外ニ原始的ナル彼等  
 ハ精神海耗的ナル野蠻極ル喇嘛教ヲ盲信シテコウ  
 シタコトヲ知ラハトモシナイカ少ナ草架包ヲ駱  
 駝ノ背ニオアンスヨ求メテ沙止カラクニ流レテ

普通市価、百斤約二十五元内外ノ山羊毛ヲ牛車一台  
 ニ二百斤内外ヲ積載シテ市場ニ出ル彼等ハホ前  
 記ノ価格ヲ豫想シテイルニカ、ワラス一連一  
 元カ一元五角或ハマツチ十箱トカ縫針一袋トカニ  
 一箱ヲ共ハ高価ナル外國藥品ナラント偽リ巧ニ物  
 品ヲ捲上ケテシムルカアル  
 蒙古人ハコレヲ漢人ノ惠持ナル手段ヲ知リツ、モ  
 運搬シテ系ル物由テ交換セズニ再ビ數日間ヲ要シテ  
 販運スル譯ニモ行カス泣キ寢入りニテ物々交換ヲ  
 スルカ如キ現況アル  
 前記ハ簡單ナル一取引状態ヲ記セルニ過キサカ  
 以上ニテモ現在ノ蒙古地帯ニ於ケル漢人商人ノ對

六 改革マヘキ通商貿易  
 内蒙地方ノ未タ漢人及外國商人ノ進出ヲ見サル地  
 方ノ蒙古人ハ日常生活ノ必需品ヲ購入スヘノ至ニ  
 數度ニ亘リ物々交換ヲナスヘク毛皮類(主トシテ生皮  
 ノマ、ニテ)細羊山羊馬牛犬狼狐貉(毛類)綿羊  
 山羊駱駝(毛等)及藥草類燃料等ヲ牛車駱駝車ニ積載  
 シ數日間ヲ要シテ漢人街ニ來ルヲアル  
 狡猾ナル漢人ハ蒙昧無智ナル之レ等蒙古人ヨリ法  
 外ノ價格ニテ物由テ騙取シテイルノカ現在興安省  
 林西開魯熱河省固場赤峰等ヤハル多倫地方ノ對蒙  
 貿易アル  
 今コ、ニソノ商取引ノ例ヲ載ケテミル

ナラ被算ハ、アカユル手段ヲ講レテ蒙古人ニ迫害ヲ  
 加ハルノテアル  
 カ、ル状態ナレハ漢人ト蒙古人ト、融和ハ到底望  
 マレヌ又、テアル  
 將來蒙古民族ノ開發ヲ計ルニハ経済的方面ヨリ、  
 開拓カホ一テアルト思フ  
 尙之カ商取引ノ對策トシテハ一部北蒙海拉爾方面  
 一ヲ行ハレテイル物々交換市ヲ定期的ニ開キ漢人  
 商人ヲモ相當入蒙サセ取引ヲ行フコトテアル之等  
 一取引ニハ官憲ヲ立会サセテ漢人商人ノ暴利ヲ取  
 締ヨセル等モ上ツノ手段テアル  
 一方コレカ定期市ニ伴フ弊害又又少ナカラサル又  
 ノカアル、次ノ市カ開カレルヨリ生活必需品ヲ無理

蒙貿易状態カ或分窺ハレル  
 漢人商ノ悪埠ナル手段ヲ知ル一部蒙古人ノ有識階  
 級者達カ之ノ商取引ノ改善ヲ叫ンテイルカ現在  
 ノ蒙昧ナル一般蒙古人ニハ、コウシテ改革運動モ前  
 記ノ有識階級者間ノ間ニハ、コウシテ何等一般牧民ニ  
 入レラレルトコロカ無イ一方コウシテ商取引ノ改  
 善ヲ行ハレ又反面漢人ノ悪埠ナル行為著ク蒙  
 古人ノ嫌悪ヲ買ツテイル適々支那人ノ压迫ツウ  
 ケタ蒙人ノ住ム地帯ヲ實情ノ知ラマ支那人高クカ毛  
 皮類ノ買出ニテモ旅行スルモノナラ物々交換ノ迫害ヲ  
 造ケルカ或ハ捕ヘラレテ慘殺サレタ例モ多クアル  
 ノテ支那商人ハ同地方ノ蒙古人ヲ極度ニ恐レテイル  
 ルカ一度蒙古人カ物品ニ窮シテ漢人部落ヲ訪ウタ

二 購入レ之ヲ貯藏シテ遊牧スル等又ハナカラ又繫  
 害テアルカコウシタ事ハ各個人ニテ遠路敷日間ヲ  
 要シテ漢人市場ニ出テ甘イ汁ヲマンマト彼等ニ吸  
 ハレルヨリハ増テアル  
 又定期市ヲ開ク以外ニ外蒙地方ニテ行ハレテイル  
 購買組合制度ノ如キモノヲ各盟カ或ハ旗又ハア  
 下(村)カ聯合シテ組合ヲ組織スルモ又有利ナル対  
 策ナラン  
 以上ノ外ニ比較的ニ漢人市場ニ近キ蒙吉地帯ニテ  
 ハ漢人市場ニ旗又ハ盟ヨリ其ノ他ニ貿易并事處ノ  
 如キモノヲ設置シテ蒙吉ヨリ輸出サレタル物品ノ  
 賣買ヲ蒙吉人ト漢人トノ取引仲介又ハ指導ヲナス  
 等ノコトモ好キ手段トモ云ヒ得ル事ヲアロウ

三、蒙古開發ト鉄道敷設  
 蒙古産業開發ニハ鉄道敷設カ焦眉ノ急務タトノ  
 輿論モ屢々新聞紙上ニテ知ルトコトテアルカ今  
 未開ノ彼地ニ産業開發或ハ土民救済ノ目的ヲモ  
 ツテ鉄道ヲ敷設セント假定スルモ先ツ!!之カ布  
 設工事ノ技師ハ當然日本人カ漢人ヲ招聘シナケ  
 レハナラマ  
 エ事ヲスル苦カハ無論牛マ馬ヲ追フコトヨリ他  
 = 知ラヌ急情ナ蒙古奴隸ニハ絶体ニ出來得ヌコ  
 トデア  
 畢竟山東苦カヲ使役スルコトニナル  
 之ニ伴ナツテコレヲ漢人苦カヲ相手ニスル支那  
 商人カ逐次入込ンテ來ル  
 商業ヲ知ラヌ蒙古人ハ折角現地ニ居リナカラミ  
 スノ漢人商人ニ甘イ汁ヲ吸ハレル譯タ  
 結局蒙古人ハ鉄道敷設ト同時ニ遊牧地帯カソ  
 ヌケ減シラレル譯テアル  
 曰ク彼等ニハ鉄道敷設ニ依リ何等恩惠ヲ受ケル  
 ワケテモナイ  
 汽車カ動イテモ機關手モ火夫モ出來ナイ彼等ニ  
 ハ何ノ為メノ鉄道敷設ニナル譯カ?  
 未開ノ原野ニ急劇ニコウシタ文化ヲツキ込ンテ  
 モ彼等ニハ到底消化シ得ルタケノ氣カト準備カ  
 出來テ居ラヌ只徒ニ蒙古民族ヲシテ疲弊サセル  
 ノミタ  
 現ニ四平街ヨリ兆南ヲ經テハアルヲ走ル四兆

S 1.6.1.2-13

292

■ 1.6.1.2-13

291



ルヘキコトヲ考ヘテヤラナケレハナラナイ  
 曰ク蒙古人ノ技師ナリ汽車ヲ動カス機關手サテ  
 ハ線路ヲ敷ク工夫ナリヲ養育シテカラテモ蒙古  
 ハノ鉄道敷設ハ決シテ遅クハナイ  
 無論コウシタ方面ノ教育ハ養ヒ親タル吾國カ指  
 導シテヤルヘキタ  
 若シコウシタ計劃モナク徒ニ鉄道敷設ノミヲ焦  
 ツタナラハ再ヒ第二第三ノ四洮線ナリ東支線ナ  
 リノ失體ヲ繰返ス譯テアル  
 否北海道ノアイヌ民族ノ如ク次第ニ追レ滅ヒ行  
 クモノテハナカノウカ？  
 蒙古民族ノ生活ヲ改善セント欲セハ先ツ現在行

線ニセヨチハルト海拉爾ヲ繋ク東支鉄道ニセ  
 ヲ實ニヨク歴史ニ物語ツテキル  
 四平街ニセヨ通遼洮南ニセヨ海拉爾チハルニ  
 セヨ以上ノトコノ土地ニセヨ年ヲ追ツテ蒙古情  
 況カ薄レ蒙古人ハ鉄道沿線ヨリ年ト共ニ遠サカ  
 リ彼等ノ安住ノ地ヲ求メルカ又ハ夥シイ漢人ノ  
 壓迫ヲ受ケ生キルカ爲カ野人ノ如キ彼等モ半ハ  
 漢人化シテ來テキル  
 コレニ反シテ漢人移民ハ年々増加シツアル現  
 況ヲ結局漢人ノ爲メノ鉄道設置トモ云フヘキモ  
 ノカアル  
 或ハ一方カラ見テ鉄道敷設モ喜フヘキコトタカ  
 先ツ第一ニ何等カノ方法ニテ蒙古人ノ福利ヲ計  
 六

カヨク著書或ハ新聞紙上ニ  
 一、喇嘛ヲ知ラスニ蒙古ヲ論スルナ  
 二、喇嘛ハ蒙古民族ヲ自滅サセルモノテアル  
 三、喇嘛ハ蒙古民族ノ瘡テアルトカ  
 四、喇嘛ハ蒙古ノ阿片タ  
 等々スク蒙古ヲ旅行セル邦人ノ一ツノ標語ノ様  
 ナモノニナツテキル喇嘛教ハタシカニ蒙古ヲ滅  
 シタ一原因テアル  
 何ニセ國民ハ四割弱ハ喇嘛僧侶ト云ハレテキル  
 位タカラ!

ハレテキル如キ各自勝手ナ放牧ヲセスニ半固定  
 牧場モ望マレヌカ集團的ナル團體ヲ作ルハキタ  
 例ハハ一門親族カ或一定ノ地域内ニ集合シ各自  
 ノ所有セル家畜ヲ一ヶ所ニ集合セシメテ之ヲ一  
 門中ヨリ一名タケテ選出シ之カ家畜ノ監視ヲセ  
 シメルノテアル他ノ者ハ燃料或ハ病畜ノ手當各  
 タ定メラレタル分業ヲナスコトテアル  
 畢竟以上ノ如キ集團ニヨリ幾分教育制度ノ改革  
 モ出來得ルコトテアル  
 現在ノ如キ放牧状態ハ到底兒童ノ教育モ出來  
 得ヌコトテアリ前記ノ如ク集團ヲナセハ一集團  
 ト一集團トノ中央ニ小規模ナカラ学舎ヲ作り之  
 カ教育施設モ出來得ル譯テアル

識階級ハサテ置キ現在喇嘛ニ耽溺シテナル一般  
 蒙古民衆否幾百年前ヨリ先天的ニ喇嘛教ニ膏盲  
 シテナル彼等ノ著ルシキ反感ヲ買ヒ宗教ニ盲目  
 的ナル彼等カ一朝活佛ヲテモ擁立シテ立ツタ  
 假定センカ想像以上ニ恐ルヘキ根強イモノカア  
 ルト思フ  
 現在ノ喇嘛ハ昔日ノ如ク直接旗或ハ盟ノ政治ニ  
 參與シ専横ヲ極メタル時代ハ過キタ  
 寧口政治的ニ手腕ヲ有シテキル有識者ハ前記ノ  
 如ク宗教的ニ動ク國民性ヲ利用シテ活佛ナトヲ  
 一ツノ傀儡ニツカツテ種々ノ運動ニ勉メテナル  
 尚蒙古ノ喇嘛教ハ決シテ昔日ノ如キ勢力ハナク  
 年々喇嘛寺カ減少シテキルナトハ實ニ喇嘛教ノ

S 1.6.1.2-13 298

最近(事変後)發刊サレタル某蒙古通ノ著書中ニ喇  
 嘛教カ蒙古ヨリ消滅セヌ内ハ蒙古ノ自治ハ到底  
 望マレナイコトタト實ニ極端ナル説ヲ述ヘテ  
 タカ昨今漸ク獨立ノ氣運ニ進ミツ、アル蒙古カ  
 ラ假ニ強制的ニ喇嘛教ヲ排撃トカ又ハ彼等喇嘛  
 ニ對シテ一ツノ迫害ヲモ加ヘンカ一部喇嘛ノ  
 弊害ヲ知リ之カ改善ヲモ叫ンテキル青年或ハ有

S 1.6.1.2-13 297

喇嘛教ノ改善ハ早クカラ蒙古ヲ知ル人々ニヨツ  
 テ叫ハレテキルカ現在ハ喇嘛教々徒ノ中ノ青  
 年僧侶カ率先シテ精神消耗ノ現在ノ喇嘛教ヲ  
 改革シテ新興喇嘛教ニ真ニ蒙古民族ノ喇嘛教  
 テ信仰スヘキ喇嘛教ヲ作ルヘキタト叫ハレテキ

表滅ヲ現實ニ物語ツテキル例々  
 今ノ中年蒙古人カ他界シ現在蒙古ノ中堅トシテ  
 立ツテキル青年カ中年者ニナル頃ハ喇嘛教ノ害  
 悪モ除去サレ莫ノ佛教ヲ内容トシタ名實共ニ蒙  
 古民族ノ信仰スハキ喇嘛教ヲ作ルモ又近キ將來  
 ナラン

註|| 喇嘛ノ改革ヲ記スル前ニ喇嘛教制度ヲ知  
 ルハク活佛大喇嘛徳木氣喇嘛克跪喇嘛小  
 喇嘛及喇嘛祭大念經風俗習慣日常生活廟  
 所有財産章嘉ガガン班禪ガガン等ニ付キ  
 筆ヲ起セルモ今回ハソノ内カラタ、喇嘛  
 改革タケヲ記シタノテアル